

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|---------------------|---|--|-------------------|
| 【研究課題名】 | 椎体骨折診断支援 AI の精度向上に関する研究：重度圧壊領域の自動検出と胸腰椎高位同定機能の実装 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 骨粗鬆症や転倒などで生じる背骨の骨折（椎体骨折）の診断には、単純X線検査が用いられます。先行研究において我々はAIを用いた椎体計測技術の有用性を確認しましたが、「重度の圧壊（骨折）の見逃し」や「椎体の位置（高さ）の特定精度」に課題が残っています。本研究では、この2点を改善するため、①X線画像上の重度圧壊椎体を自動で検出・表示するAI機能、②全脊柱X線画像（背骨全体の長い画像）を用いて胸椎と腰椎の位置を自動同定するAI機能、の開発を目的とします。過去に撮影された胸椎・腰椎または全脊柱の単純X線画像を用い、専門医が作成した正解データとAIの解析結果を比較することで、その精度を検証します。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承認日～2028年6月30日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3. 対象となる方等 | 椎体骨折（骨粗鬆症性椎体骨折を含む）を有する可能性のある患者さんで、2013年2月1日～2026年3月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院整形外科を受診し、胸椎・腰椎単純X線検査（側面像）または全脊柱単純X線検査（長尺像）を受けた方。 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3) 情報の種類 | 検査結果（胸椎・腰椎単純X線画像、全脊柱単純X線画像）、患者基本情報（年齢、性別）、臨床情報（椎体骨折の有無・重症度、椎体レベルの同定情報） | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 診療録（電子カルテ）から、過去に撮影された画像および診療時のデータを収集します。 | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 |
| | | 氏名 | 斎藤 充（さいとう みつる） |
| | (2) 当施設の長 | 東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥 | |
| | (3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者 | (1)の研究責任者と同じ | |
| (4) 共同で研究 を実施する | 株式会社島津製作所 医用機器事業部技術部 マネージャー 西野 和義（機関の長：山本 靖則） | | |

| | 施設とその責任者 | |
|---------------------------|--|--|
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | <p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された共同研究機関のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：個人情報削除した画像をパスワード保護した電子記録媒体に複製し、研究実施者の院内 PC を経由して、セキュリティ対策が施されたクラウドストレージにアップロードして提供します。</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2026 年 8 月頃～</p> | |
| 【問い合わせ先】 | <p>機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座</p> <p>研究責任者：主任教授 斎藤 充（さいとう みつる）</p> <p>窓口担当者：講師 荒川 翔太郎（あらかわ しょうたろう）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3441）</p> <p>対応時間：平日 09：00 ～ 17：00</p> | |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。